

音 楽（器楽合奏）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
17	教 出	中学器楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	中学生の器楽

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観 点	視 点	方 法
(ア)	知識及び技能の習得	①	器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫 リコーダーにおける知識及び技能に関する記載
		②	題材の学習目標等の示し方 学習目標等の表記の仕方及び目標達成のための支援の具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③	音楽的な見方・考え方を働かせる工夫 音楽表現を創意工夫する学習の記載内容
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	興味・関心を高めるための工夫 資料及び巻頭の内容
		⑤	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫 音楽文化に関する記載
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑥	我が国の音楽に関する内容の扱い 和楽器に関する教材の扱い
		⑦	教材の分量及び構成 楽器別カテゴリー別教材数、合奏・アンサンブルのカテゴリー別教材数及び内容の構成
(オ)	内容の表現・表記	⑧	楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用 楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体

【音楽（器楽合奏）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫
方法	リコーダーにおける知識及び技能に関する記載

	分類	内容
教 出	○ リコーダーの特徴、歴史に関する記載	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史に関する記述 ・リコーダーと同じ発音原理の「ふえ」は古代より世界各地に分布しています。 ・ヨーロッパでは15世紀から18世紀前半（ルネサンスからバロック）に、宮廷や教会において、独奏や合奏で使用されるようになりました。 ・20世紀に入るとリコーダーの特性が見直され、現在では音楽の多様化とあわせてさまざまなジャンルで活躍しています。 ○ 各部の名称 ○ リコーダーの変遷 ・ルネサンスのリコーダー ・バロックのリコーダー
	○ 奏法、身体の使い方に関する記載	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運指が共通の音の例 ○ 姿勢とかまえ方 ○ 指穴の番号と指番号 ○ チューニング ○ タンギング ○ サミング ○ アーティキュレーション ○ リコーダー運指表
	○ 演奏する順番	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つの音で吹いてみよう ○ 左手で吹こう① ○ 左手で吹こう② ○ 右手を加えてみよう ○ サミング ○ 音域を広げよう ○ アーティキュレーション
教 芸	○ リコーダーの特徴、歴史に関する記載	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史に関する記述 ・リコーダーは、ヨーロッパ各地で古くから演奏されていました。16世紀頃には、独奏や合奏、歌や踊りの伴奏などで盛んに用いられるようになりました。 ・17世紀後半に、現在のようなジョイント（継ぎ目）のある形に改良され、ピッチ（音の高さ）の調整が可能となり、音域も広がりました。 ・18世紀頃には、ヴァイオリンなどと並ぶ重要な独奏楽器となり、ヴィヴァルディやバッハなどの作曲家が、リコーダーの活躍する作品を残しました。 ・ジョイントのないリコーダー、ジョイントのあるリコーダー ○ 各部の名称 ○ 音域 ○ 楽器の手入れ ○ リコーダーの種類 ○ リコーダーの仲間
	○ 奏法、身体の使い方などに関する記載	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢と構え方 ○ トーン ホール番号と指番号 ○ チューニング ○ タンギング ○ サミング ○ アーティキュレーション ○ リコーダー運指表
	○ 演奏する順番	<ul style="list-style-type: none"> ○ LESSON 1 [左手による運指] ○ LESSON 2 [両手による運指] ○ LESSON 3 [サミング] ○ LESSON 4 [高い音、＃や♭の付く音]

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②題材の学習目標等の示し方
方法	学習目標等の表記の仕方及び目標達成のための支援の具体例

ギターにおける学習目標等の表記及び目標達成のための支援の具体例		
	学習目標等の表記の仕方	目標達成のための支援の具体例
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ アニー・ローリー <ul style="list-style-type: none"> ・右手の使い方と左手の運指に注意して演奏しよう。 ○ Happy Birthday to You <ul style="list-style-type: none"> ・ギターの音色を聴き取りながら表現しよう。 ○ カントリー・ロード <ul style="list-style-type: none"> コードと旋律の響きを感じ取って演奏しよう。 ○ エチュード <ul style="list-style-type: none"> ・アル・アイレ奏法を用いてアルペッジョを弾いてみよう。 ○ アニー・ローリー <ul style="list-style-type: none"> ・曲想を生かし、全体の響きを感じ取って演奏しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢とかまえ方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。 ○ 数字やアルファベットを使って、演奏で使用する指の名称について、右手と左手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。また、写真の中に指の記号と番号を示している。 ○ チューニング（調弦）について、ヘッド部分のイラストと第①弦から第⑥弦までの開放弦の音の楽譜を掲載し、説明している。また、チューナーの写真を掲載し、説明している。 ○ アポヤンド奏法とアル・アイレ奏法について、右手で弦を弾いている写真を掲載し、説明している。 ○ コードの押さえ方について、4つのコード（G、D7、C、Em）のダイアグラム（運指図）と右手で弦を押さえている写真を掲載し、説明している。 ○ ストローク奏法について、「ダウン・ストローク」と「アップ・ストローク」の右手で弦を弾いている写真を掲載し、説明している。また、ピックと持ち方について写真を掲載している。
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ カントリー ロード <ul style="list-style-type: none"> ・下の「リズムパターンの例」を参考にして、ストローク奏法で演奏しましょう。 ○ 大きな古時計 <ul style="list-style-type: none"> ・奏法を選んで、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しましょう。 ・上のG 1に伴奏パートを加えて、G 2はアル アイレ奏法で、G 3は奏法を選んで演奏しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢と構え方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。その中で、左手と右手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。 ○ 指の番号と記号について、両手のイラストを掲載し、説明している。また、イラストの中に指の番号と記号を示している。 ○ チューニング（調弦）について、ヘッド部分のイラストと第①弦から第⑥弦までの開放弦の音の楽譜を掲載し、説明している。また、チューナーの写真を掲載し、説明している。 ○ アポヤンド奏法とアル アイレ奏法について、指のイラストを掲載し、説明している。 ○ コードの押さえ方について、4つのコード（G、D、Em、C）のダイアグラム（運指図）と右手で弦を押さえているイラストを掲載し、説明している。 ○ ストローク奏法について、「ダウン ストローク」と「アップ ストローク」の右手で弦を弾いている写真を掲載し、説明している。また、ピックの持ち方について写真を掲載している。

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方法	音楽表現を創意工夫する学習の記載内容

	曲名	音楽を形づくっている要素	記載内容
教 出	どこかの街で 不思議な旋律 PART 1	<ul style="list-style-type: none"> ・音色 ・速度 ・強弱 ・旋律 ・構成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループに分かれて「基本形」を演奏します。速度や強弱などは、グループで話し合って確認しておきましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・「基本形」の「旋律」と「伴奏」の楽譜を掲載している。 ○ 「基本形」に慣れたら、オプションパート「伴奏A」～「伴奏D」から選んで加えて演奏してみよう。旋律はアーティキュレーションを工夫したり、「ラ」や「ル」など声で表現したりしてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・オプションパートの「伴奏A」～「伴奏D」の楽譜を掲載している。 ○ 「基本形」にオプションパートを加え、構成を工夫した形が仕上がったら、グループごとに発表してみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・演奏の例を示すとともに、構成を書き込む表を設けている。
教 芸	風によって	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム ・テクスチャ ・強弱 ・構成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 曲は「ア」「イ」の2つの部分で構成されています。演奏を聴いたり1と2のパートのリズムを演奏したりして、それぞれの部分で各パートのリズムや強弱、音の重なり方にどのような特徴があるのかを確かめましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ア」「イ」の部分について、それぞれキャラクターの吹き出しで考える観点を例示している。 ○ 演奏順序は「ア」→「イ」→「ア」になっています。①で確かめたことをもとに、それぞれの部分をどのように演奏したいのかを考え、表現の仕方を工夫しましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・注目するポイントとして、音楽を形づくっている要素を示し、キャラクターの吹き出しで考える観点を例示している。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	資料及び巻頭の内容

	資料の内容	巻頭の内容
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 打楽器 <ul style="list-style-type: none"> ・「小太鼓（スネアドラム）」「大太鼓（バスドラム）」「ボンゴ」「コンガ」「カホン」について、演奏している写真を掲載し、説明している。 ○ リコーダー運指表 <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの運指表を掲載し、リコーダーの変遷について、写真を掲載し、説明している。また、リコーダーの種類についての写真を掲載している。 ○ ギター&キーボード コード表 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのコードについて、ダイヤグラム、コードを押さえた写真、和音の楽譜、押さえる鍵盤を示したキーボードのイラストを掲載している。 ○ いろいろな用語、記号 <ul style="list-style-type: none"> ・速度や速度の変化、強弱や強弱の変化、反復、階名と音名について表や楽譜を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「LET'S PLAY MUSIC！」と題し、世界のいろいろな楽器の演奏写真、演奏者名を掲載している。 ○ 「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」と題して、兵庫県、佐賀県、宮城県に設置されているストリート・ピアノの写真を掲載している。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の伝統音楽の楽器編成 <ul style="list-style-type: none"> ・「雅楽」「能・狂言」「歌舞伎（長唄）」「文楽（義太夫節）」「三曲合奏」「郷土の芸能、民謡など」の演奏している写真と主要な楽器の写真を掲載している。 ○ バンドの世界をのぞいてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・バンドの写真とスコア（楽譜）の一部を掲載している。 ○ 伝統の枠を超えて活躍する和楽器 <ul style="list-style-type: none"> ・「尺八とマリンバ」「箏とオーケストラ」「津軽三味線とバンド」の演奏している写真を掲載している。 ○ リコーダーの運指表 <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの運指表を掲載し、「替え指を活用しよう」について説明し、リコーダーの仲間について、写真を掲載し、説明している。 ○ ギター/キーボード コード表 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのコードについて、ダイヤグラム、コードを押さえたイラスト、和音の楽譜、押さえる鍵盤を示したキーボードのイラストを掲載している。 ○ 楽器の図鑑 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の諸民族の音楽」として、ズルナ、バグパイプ、サンポーニャ、クンダン、ジェンベ（ジャンベ）、モリンホール（馬頭琴）、コラの写真を掲載している。 ○ 音楽の約束 <ul style="list-style-type: none"> ・音符・休符・記号・用語について、表や楽譜で掲載している。 ○ 楽しもう！和楽器の音楽 <ul style="list-style-type: none"> ・太鼓と箏について、演奏している写真、写真の説明、「中学生にインタビュー」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さっきのドラムソロやったの、誰だ？」と題し、石若駿の写真と言葉、ドラムを演奏している写真を掲載している。 ○ 「音楽って何だろう？じぶんの、そして、ひとのもの」において、さまざまな楽器の演奏写真とともに、小沼純一の写真と言葉を掲載している。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫
方法	音楽文化に関する記載

世界の諸民族の音楽に関する記載（我が国の音楽は除く）	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ LET'S PLAY MUSIC! <ul style="list-style-type: none"> ・バーンスリー、アパラチアン・ダルシマーを演奏している写真を掲載している。 ○ 発展 吹く楽器の仲間たち <ul style="list-style-type: none"> ・スリン、ケーナ、バーンスリーを演奏している写真を掲載し、楽器について説明している。 ○ 発展 弾く楽器の仲間たち <ul style="list-style-type: none"> ・背景に世界地図を掲載し、その上に、リュート、バラライカ、ピーパー、マンドリン、カーヌーン、グージョン、ウード、カヤグム、トンコリ、サンシエン、アパラチアン・ダルシマー、ウクレレ、バンジョー、チャランゴの写真と説明を掲載している。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽って何だろう？ <ul style="list-style-type: none"> ・シーク・ボンボ、チャンゴ、イプヘケ、アイタ、バグパイプ、ンビラ、カヤグム、ガルベ・タンブラン、ディジェリドゥを演奏している写真を掲載している。 ○ 楽器の図鑑 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸民族の楽器として、ズルナ、バグパイプ、サンポーニャ、クندان、ジェンベ（ジャンベ）、モリンホール（馬頭琴）、コラの写真を掲載している。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥我が国の音楽に関する内容の扱い
方法	和楽器に関する教材の扱い

和楽器に関する教材の扱い		
教 出	配列（各楽器 単独で扱って いるページ 数）	篠笛（5ページ）→尺八（2ページ）→箏（8ページ）→三味線（7ページ） →太鼓（6ページ）
	縦譜	さくらさくら（独奏・二部合奏）、荒城の月、六段の調、こきりこ節、もののけ姫
	楽器ごとの楽 曲（鑑賞曲も 含む）	篠笛 …たこたこあがれ、ひらいたひらいた、さくらさくら、子守歌、長唄「越後 獅子」、一番星みつけた、夜空を見上げて（「一番星みつけた／夜空を見上 げて」（三部合奏） 尺八 …もういいかい、尺八曲「鹿の遠音」 箏 …さくらさくら（独奏・二部合奏）、荒城の月、箏曲「六段の調」 さくら変奏曲、こきりこ節（二部合奏）、もののけ姫（二部合奏） 赤とんぼ 三味線…さくらさくら、長唄「秋色種」から 虫の合方、長唄「鞍馬山」から セリ の合方、長唄「勸進帳」から 寄せの合方 太鼓 …千の海響 望の章（太鼓、締太鼓三部合奏）
	合奏曲（異な る楽器編成）	祭囃子（篠笛、締太鼓二部合奏） 長唄「勸進帳」から 寄せの合方（三味線、打楽器二部合奏）
	上記以外の和 楽器に関する 教材	○ 表現の仕方を調べてみよう PART-1 ○ 表現の仕方を調べてみよう PART-2
	教 芸	配列（各楽器 単独で扱って いるページ 数）
縦譜		虫づくし、姫松、「六段の調」から“四段”、さくらさくら、少年時代、夏祭り
楽器ごとの楽 曲（鑑賞曲 も含む）		篠笛 …通り神楽、阿波おどり、たこたこあがれ、ほたるこい、もののけ姫 尺八 …鶴の巣籠（都山流本曲）、Amazing Grace、江戸子守唄、夕やけこやけ 箏 …「手事」から第3楽章“輪舌”、千鳥の曲、虫づくし、姫松 「六段の調」から“四段”、さくらさくら、少年時代、夏祭り 三味線…長唄「鏡獅子」から、津軽三味線「津軽じょんから節」、こきりこ、 荒城の月 太鼓 …TAIKO POWER、エイサー、風によって
合奏曲（異な る楽器編成）		MATSURI（篠笛、締太鼓、長胴太鼓三部合奏） 「寄せの合方」によるリズムアンサンブル（三味線、大鼓、小鼓三部合奏）
上記以外の和 楽器に関する 教材		○ 日本の伝統音楽の楽器編成 ○ 伝統の枠を超えて活躍する和楽器 ○ 楽しもう！和楽器の音楽

【音楽（器楽合奏）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦教材の分量及び構成
方法	楽器別カテゴリ別教材数、合奏・アンサンブルのカテゴリ別教材数及び内容の構成

		楽器別							合奏・アンサンブル	内容の構成
		リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	篠笛	尺八		
教 出	クラシック音楽	8	1						6	①リコーダー
	我が国の音楽（民謡、わらべうた、日本歌曲等）	2		4	1		5	1	6	②篠笛 ③尺八
	世界の民謡		2						2	④ギター
	映像に関する音楽（映画、テレビ、ゲーム等）	1							6	⑤箏 ⑥三味線
	その他（ポピュラー音楽、オリジナル等）	9	3	2			1		11	⑦太鼓
	計	20	6	6	1	※	6	1	31	⑧合奏（アンサンブル） ・Let's Play! ・Let's Try! ⑨名曲旋律集 ⑩資料 ※太鼓の教材は「合奏・アンサンブル」に1曲あり。
教 芸	クラシック音楽	5							2	①リコーダー
	我が国の音楽（民謡、わらべうた、日本歌曲等）			4	1		2	1	3	②ギター ③箏
	世界の民謡	2							3	④三味線 ⑤太鼓
	映像に関する音楽（映画、テレビ、ゲーム等）	1					1		5	⑥篠笛 ⑦尺八
	その他（ポピュラー音楽、オリジナル等）	6	2	2					12	⑧打楽器
	計	14	2	6	1	※	3	1	25	⑨アンサンブル曲 ⑩楽器で Melody ⑪資料 ※太鼓の教材は「合奏・アンサンブル」に1曲あり。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑧楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用
方法	楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体

	楽譜	イラスト・写真	デジタルコンテンツ
教 出	リコーダー		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材曲 ○ 運指に対応する音 ○ フレーズについて ○ アーティキュレーション ○ トリル 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各部の名称 ○ 運指が共通の音の例 ○ 指穴（トーン ホール）の番号と指番号 ○ ピッチの調整の仕方 ○ タンギング（図A、図B） ○ 運指 ○ 息のコントロールについて（キャラクター） ○ 演奏者 ○ 姿勢とかまえ方（アルト・リコーダー、ソプラノ・リコーダー） ○ サミング ○ 息のコントロールについて 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲載曲やサミングについての動画 ○ アーティキュレーションについて、二つの奏法の音源
教 出	箏		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材曲 ○ 調弦法（平調子ホ音、二音） ○ 平調子 ○ 縦譜 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクター（「爪」〈姿勢とかまえ方〉〈親指による基本的な奏法〉を身につけて表現しよう。「平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏をつくってみよう」） ○ 演奏者 ○ 各部の名称 ○ 弦名 ○ 柱の立て方 ○ 爪 ○ 姿勢とかまえ方 ○ 親指による基本的な奏法 ○ 奏法（押し手） ○ 箏曲「六段の調」に挑戦！（① ② ③ ④ ⑤） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調弦法について、2つのパターンの平調子の音源 ○ 親指による基本的な奏法の動画 ○ 「六段の調」の三段の冒頭の動画
教 芸	リコーダー		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材曲 ○ 運指に対応する音 ○ タンギング ○ アーティキュレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指穴（トーン ホール）の番号と指番号 ○ ピッチの調整の仕方 ○ タンギング ○ 運指 ○ 姿勢と構え方（口元、指） ○ 音の響かせ方 ○ こんな意識で合わせよう（①②③） ○ 演奏者 ○ 姿勢と構え方（正面、側面） ○ サミング ○ 楽器を知ろう（ジョイントのないリコーダー、ジョイントのあるリコーダー） ○ 各部の名称 ○ LESSON 1（構え方、右手） ○ リコーダーの種類（8種類のリコーダー、リコーダーアンサンブル） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 演奏者の情報 ○ 姿勢と構え方、タンギングについての動画 ○ 教材曲の伴奏の音源 ○ 「学びのコンパスアーティキュレーションを工夫しよう」のワークシート
教 芸	箏		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材曲 ○ 調弦（平調子、乃木調子） ○ 弾いてみよう ○ 縦譜 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 演奏者 ○ 各部の名称 ○ 柱の立て方 ○ 爪 ○ 姿勢と構え方（上側、正面） ○ 基本的な奏法 ○ いろいろな奏法 ○ 箏のさまざまな演奏 ○ 箏と琴 ○ 糸の響き ○ 「姫松」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 演奏者の情報 ○ 基本的な奏法、いろいろな奏法についての動画